



山田コンサルティンググループ株式会社

# 2015年3月期 第2四半期決算説明会

2014年10月31日(金)

山田コンサルティンググループ株式会社



<b>1. 2015年3月期第2四半期決算概要</b>		<b>3</b>
●(1)山田コンサルティンググループ全体組織	_____	4
●(2)第2四半期決算のポイント	_____	5
●(3-1)第2四半期連結損益計算書概要	_____	6
●(3-2)連結業績推移	_____	7
●(4)セグメント別損益状況	_____	8
●(5-1)経営コンサルティング事業	_____	9
●(5-2)不動産コンサルティング事業	_____	10
●(5-3)資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	_____	11
●(5-4)投資ファンド事業	_____	12
●(5-5)FP関連事業	_____	13
●(6)第2四半期連結貸借対照表概要	_____	14
 <b>2. 2015年3月期通期業績予想</b>		 <b>15</b>
●(1)2015年3月期 通期連結業績予想	_____	16
●(2-1)セグメント別の事業戦略① 投資ファンド事業、FP関連事業	_____	17
●(2-2)セグメント別の事業戦略② 経営コンサルティング事業	_____	18
●(2-3)セグメント別の事業戦略③ 不動産コンサルティング事業	_____	19
資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	_____	19
●(3)リスク情報	_____	20

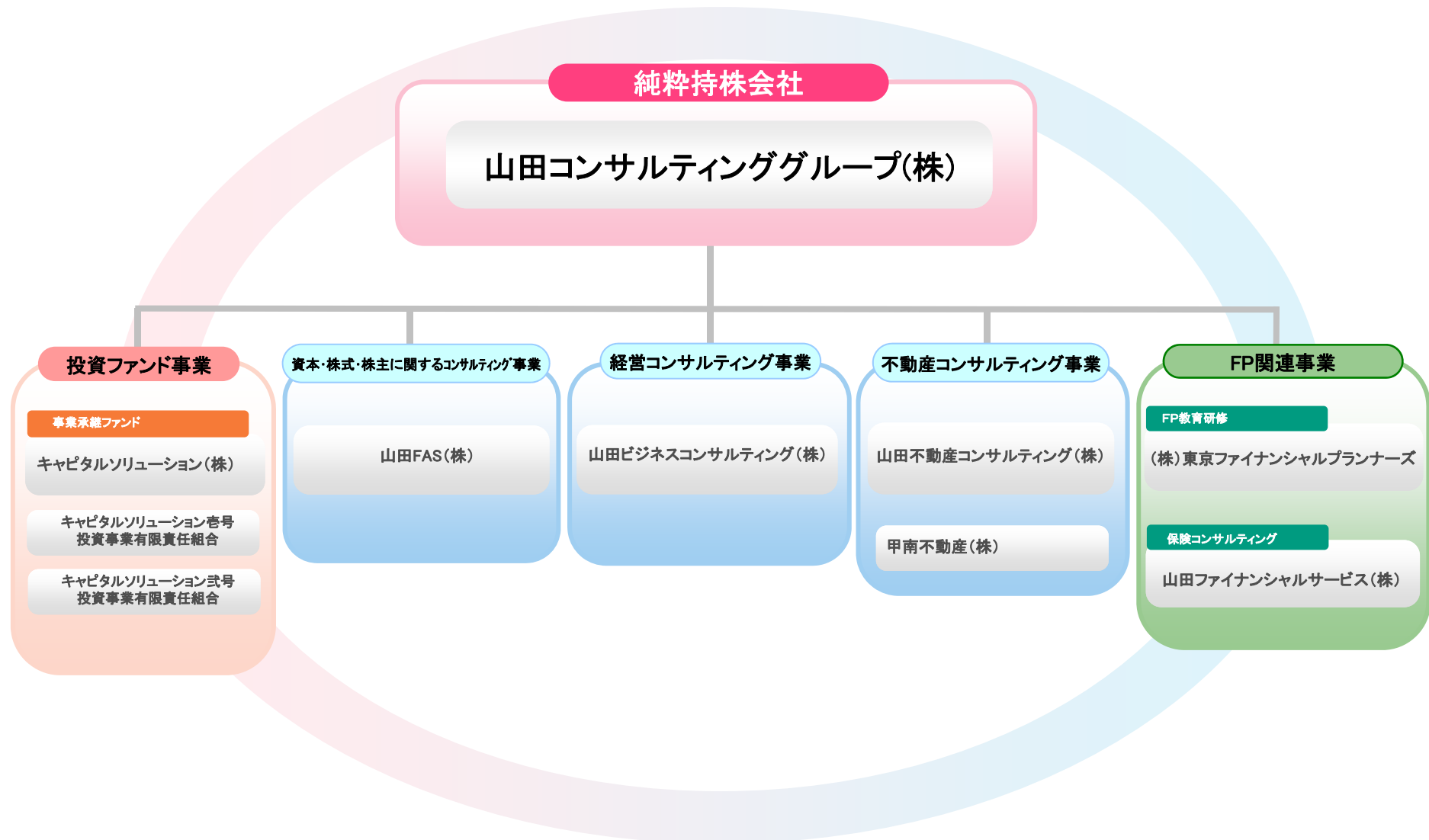


山田コンサルティンググループ株式会社

# 1. 2015年3月期 第2四半期決算概要



# (1) 山田コンサルティンググループ全体組織





## (2) 第2四半期決算のポイント

### 総括

不動産コンサル事業及び資本・株式・株主コンサル事業が順調で増収増益

### 経営コンサルティング事業

人件費関連コストの増加により前年同期比減益も、当初計画以上の業績を確保

### 不動産コンサルティング事業

提携先との連携による不動産売買仲介案件の受注が順調で、大幅な増収増益

### 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

大型M&A案件の売上計上により大幅な増収増益

### 投資ファンド事業

事業承継ファンドで1社の株式売却実現も、投資損益発生せず

### FP関連事業

法人マーケットが順調で増収増益

## (3-1) 第2四半期連結損益計算書概要



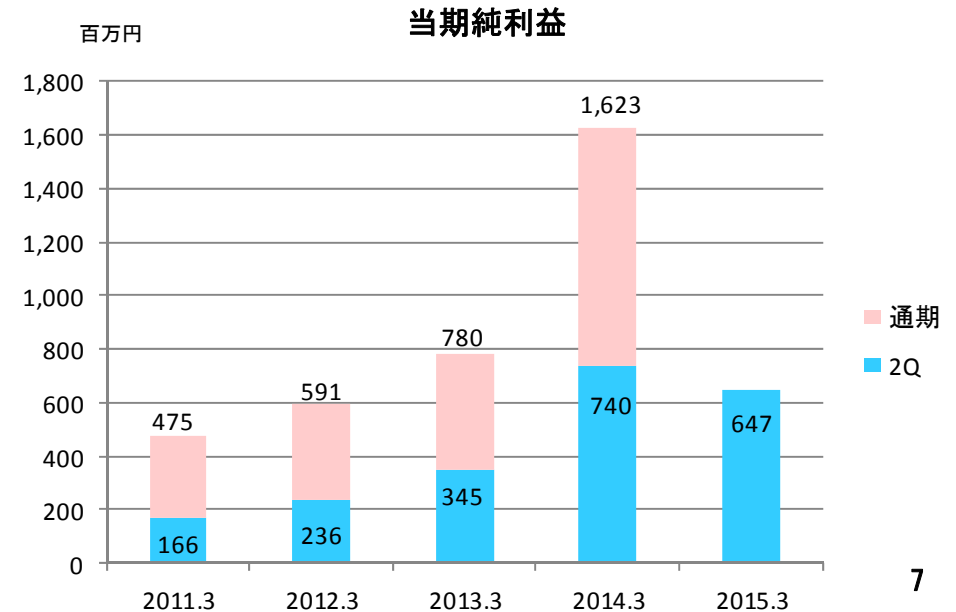
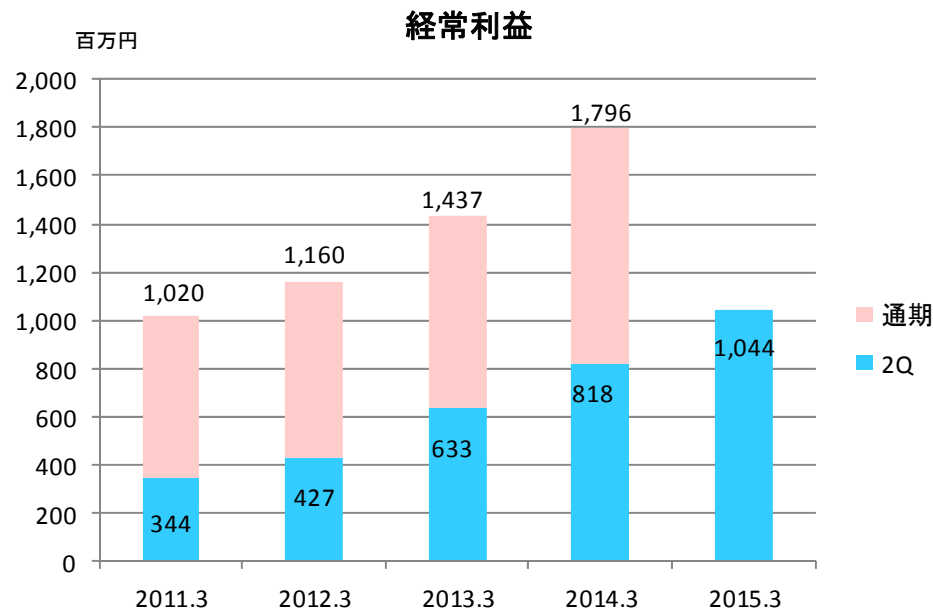
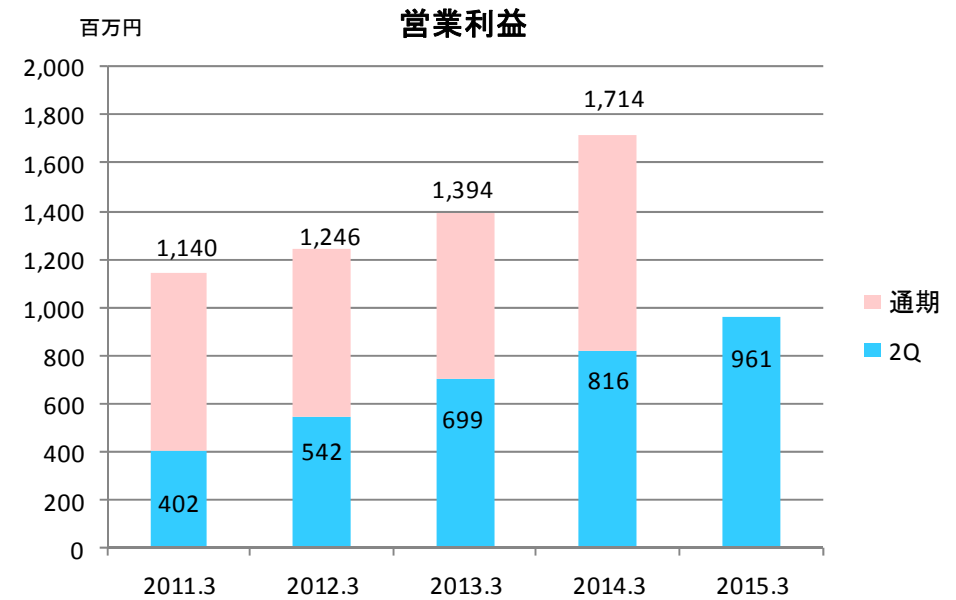
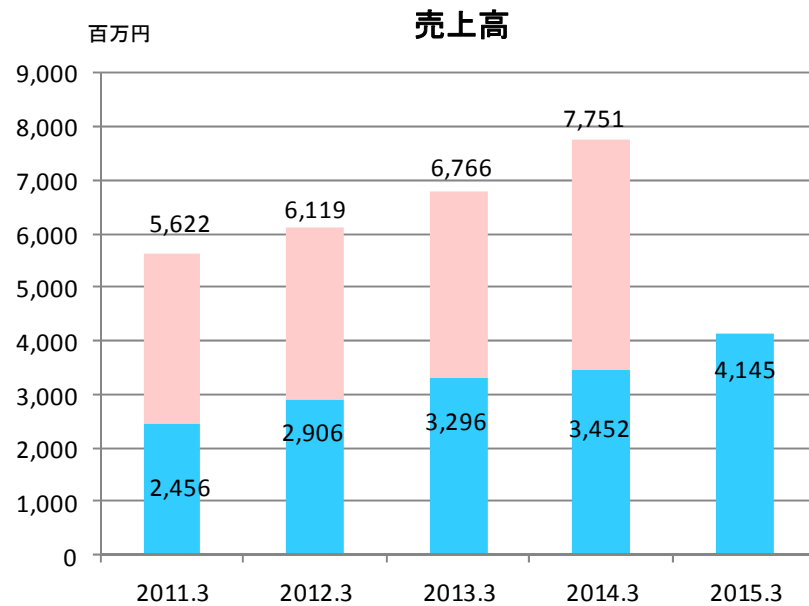
山田コンサルティンググループ株式会社

単位:百万円	2014年3月期 第2四半期累計 (売上高比 %)	2015年3月期 第2四半期累計 (売上高比 %)	前年同期比	
			金額	比率(%)
売上高	3,452 (100.0)	4,145 (100.0)	693	120.0
売上原価	398 (11.5)	477 (11.5)	79	119.8
売上総利益	3,054 (88.5)	3,668 (88.5)	614	120.1
販管費	2,237 (64.8)	2,706 (65.3)	468	120.9
営業利益	816 (23.7)	961 (23.2)	145	117.8
経常利益	818 (23.7)	1,044 (25.2)	225	127.5
税引前利益	1,069 (31.0)	1,044 (25.2)	△25	97.6
当期純利益	740 (21.4)	647 (15.6)	△92	87.5

## (3-2) 連結業績推移



山田コンサルティンググループ株式会社



## (4) セグメント別損益状況



山田コンサルティンググループ株式会社

### 【売上高】

(単位:百万円)

	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
経営コンサルティング事業	2,589	2,885	111.4
不動産コンサルティング事業	219	361	164.4
資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	329	554	168.3
投資ファンド事業	72	40	54.9
FP関連事業	313	355	113.2
消去又は全社	△72	△51	—
合計	3,452	4,145	120.0

### 【営業利益】

(単位:百万円)

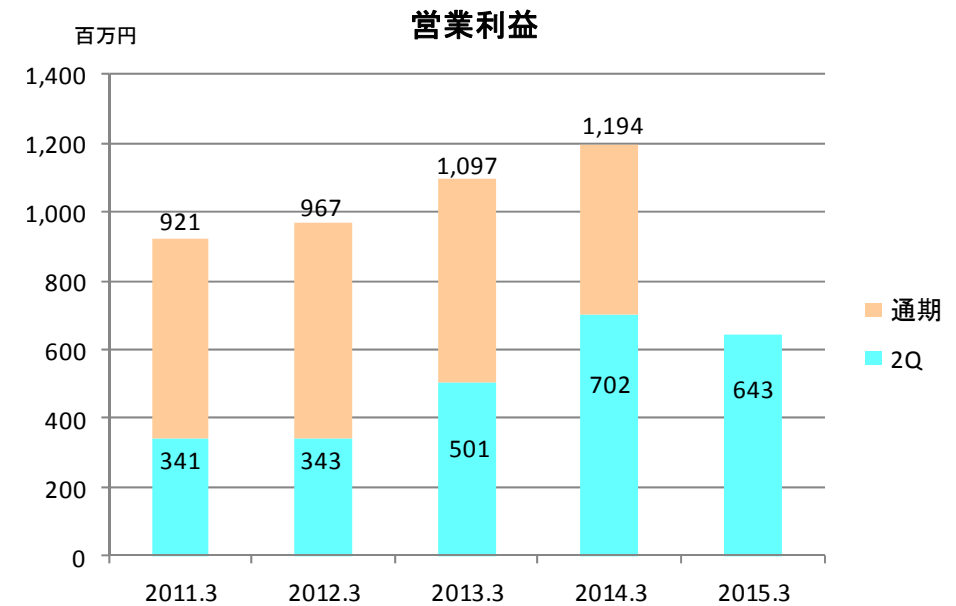
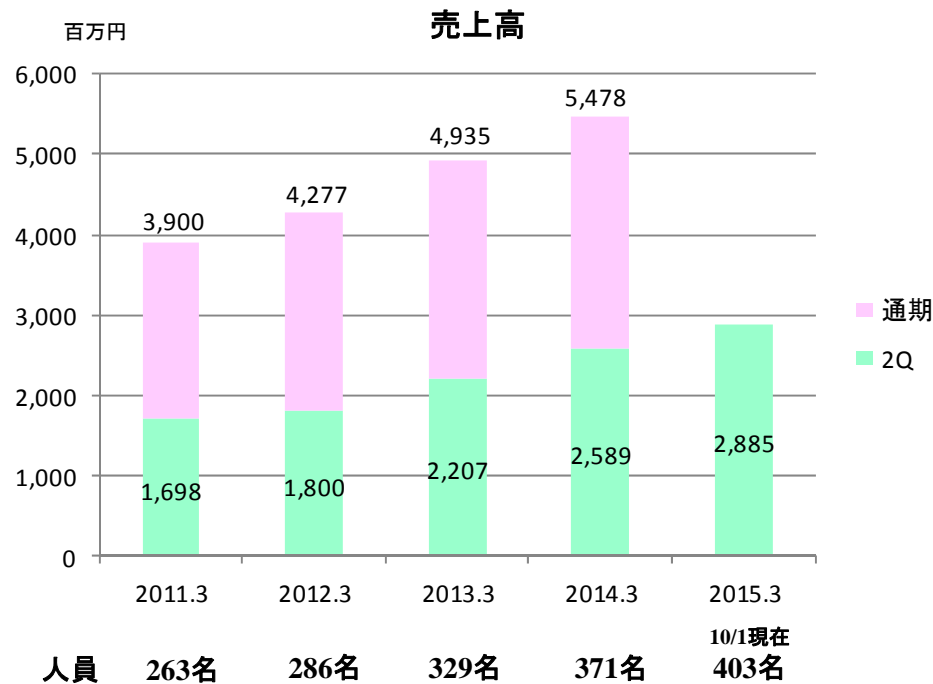
	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
経営コンサルティング事業	702	643	91.5
不動産コンサルティング事業	44	115	257.2
資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	22	152	675.1
投資ファンド事業	6	△0	—
FP関連事業	39	51	129.8
消去又は全社	0	0	—
合計	816	961	117.8



# (5-1) 経営コンサルティング事業



山田コンサルティンググループ株式会社

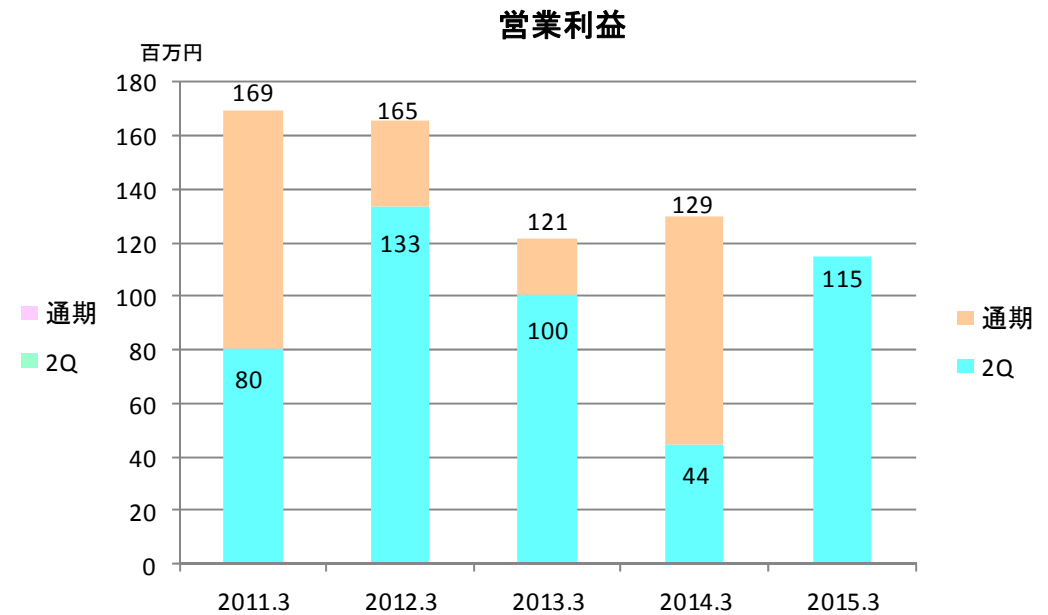
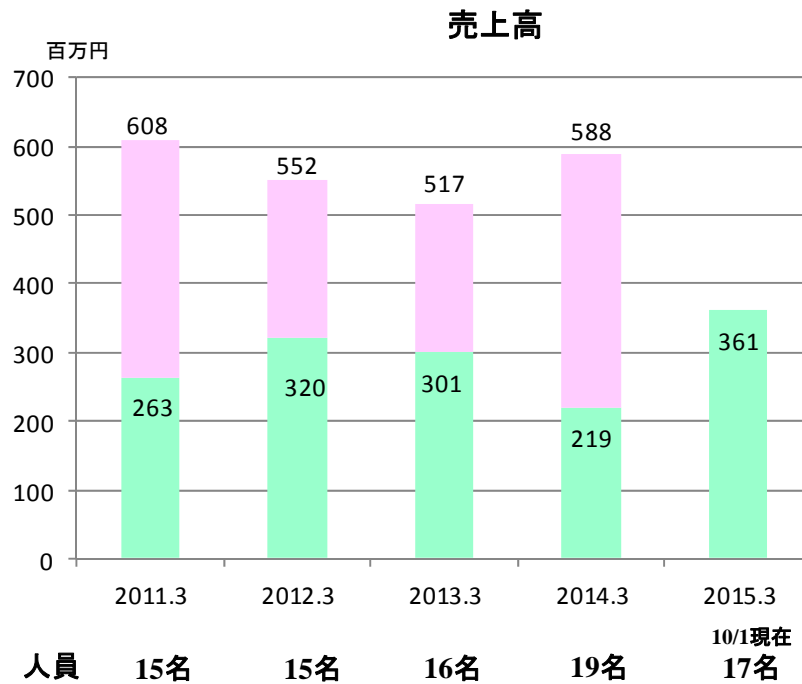


- 人件費関連コストが前年同期比326百万円増加したこと等から減益も、当初計画以上の業績を確保(人件費関連コスト 前第2Q 1,241百万円⇒当第2Q 1,568百万円)
- M&Aコンサル及び事業承継コンサルの案件受注が順調
- M&A関連売上高603百万円(前年同期は210百万円)

## (5-2) 不動産コンサルティング事業



山田コンサルティンググループ株式会社

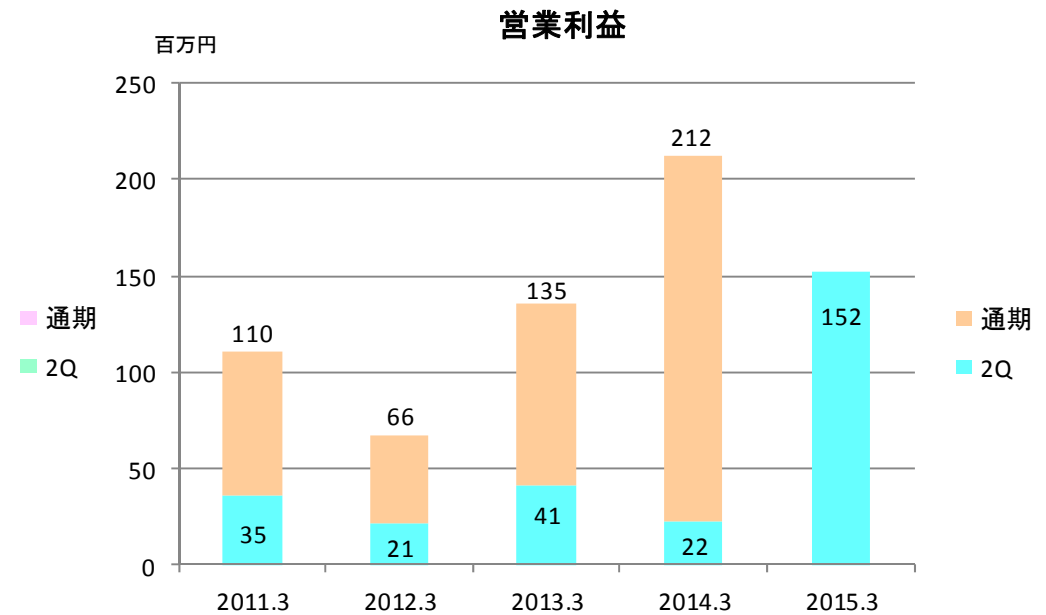
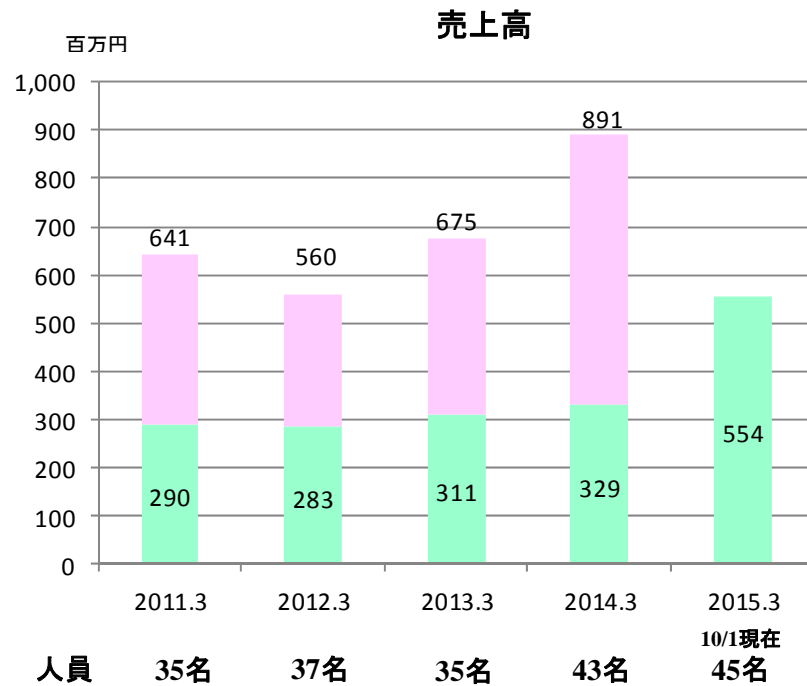


- 提携会計事務所との連携による不動産売買仲介案件の受注が順調
- 会計事務所へのアプローチ  
提携会計事務所との連携強化に注力、顧客紹介件数が順調に増加  
(提携数 260会計事務所)

## (5-3) 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業



山田コンサルティンググループ株式会社

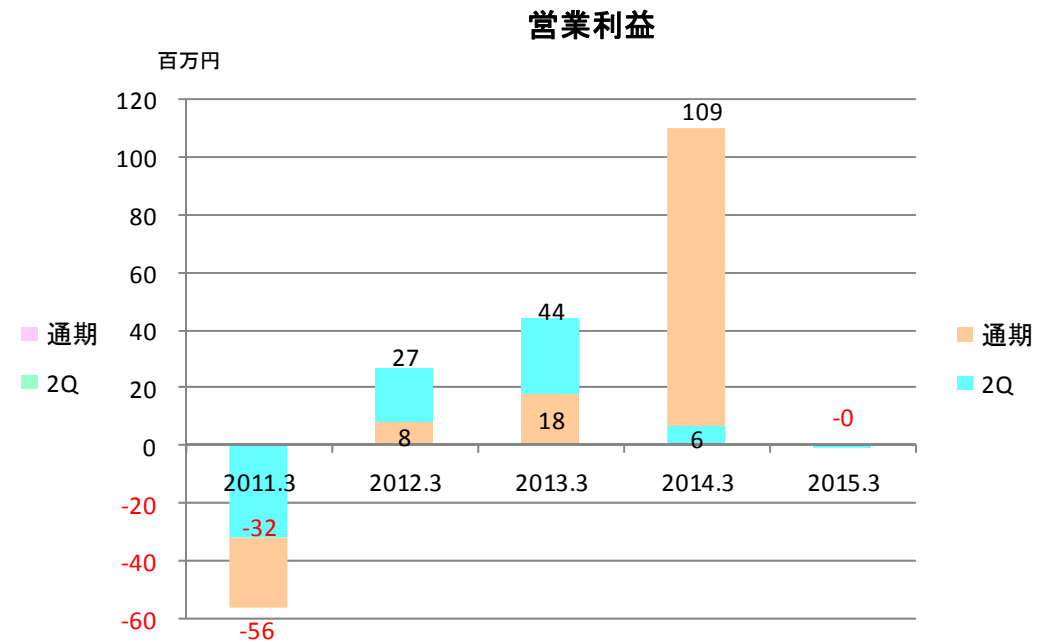
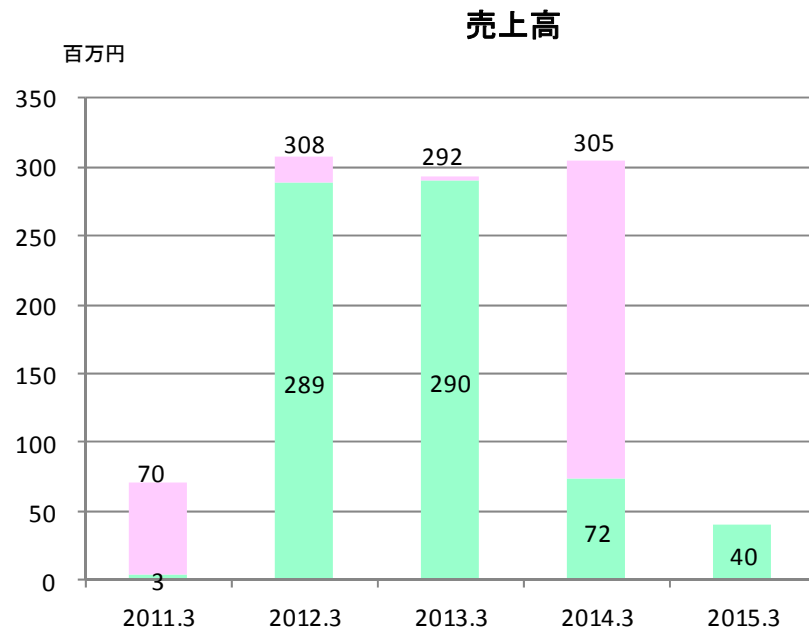


- 大型M&A仲介案件の売上実現により大幅な増収増益
- M&A関連売上高327百万円(前年同期は167百万円)
- ファイナンシャルアドバイザー業務、バリュエーション業務の案件受注は引き続き順調

## (5-4) 投資ファンド事業



山田コンサルティンググループ株式会社

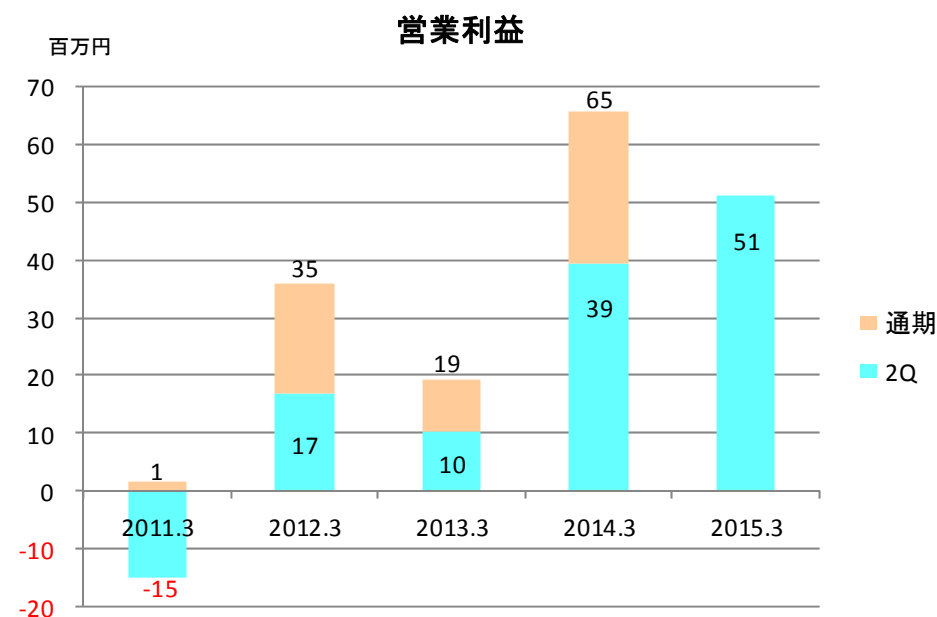
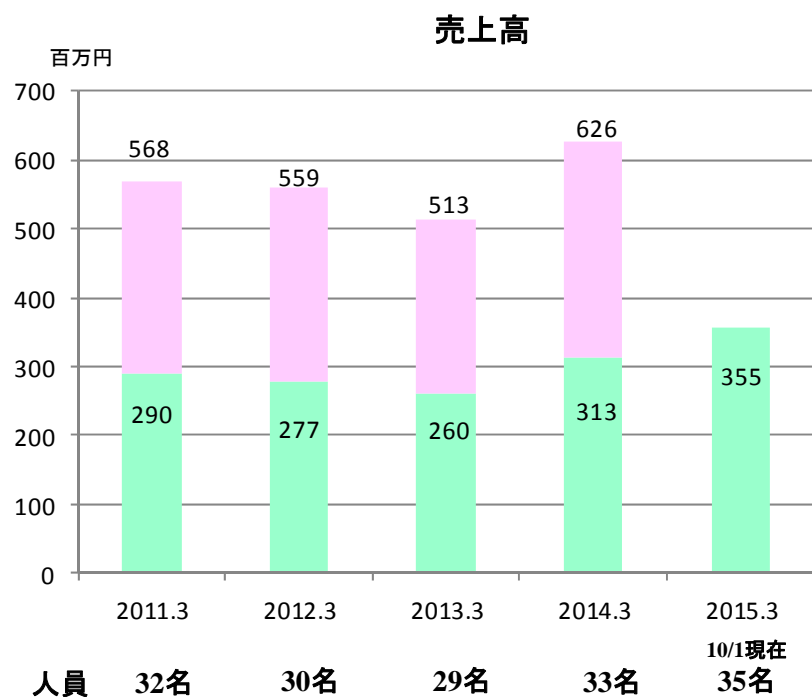


- キャピタルソリューション専号ファンドの投資先1社の株式売却実現も、投資損益は発生せず(2014年9月末投資残高7百万円)
- キャピタルソリューション専号ファンド(総額10億円)は投資実行なし

## (5-5) FP関連事業



山田コンサルティンググループ株式会社



- 法人マーケットでのFP関連講座販売及び研修受注が順調で増収増益
- 相続手続に関するサポート業務(商品名「相続あんしんサポート」)は、サービス認知活動に注力⇒当期黒字化を目指す

## (6) 第2四半期連結貸借対照表概要



山田コンサルティンググループ株式会社

単位:百万円		2014年 3月期末	2015年 3月期 第2四半期末	増減額
資産 の 部	流動資産	5,811	6,118	306
	固定資産	2,621	2,681	60
	有形固定資産	189	189	0
	無形固定資産	23	21	△2
	投資その他資産	2,408	2,470	62
	繰延資産	1	1	△0
資産合計		8,434	8,800	366
負債 の 部	流動負債	977	1,062	84
	固定負債	67	64	△2
	負債合計	1,044	1,127	82
純 資 産 の 部	資本金	1,599	1,599	—
	資本剰余金及び利益剰余金	5,922	6,349	427
	自己株式	△186	△295	△109
	株主資本合計	7,335	7,653	317
	その他の包括利益累計額	12	10	△2
	新株予約権	5	4	△0
	少数株主持分	35	4	△31
	純資産合計	7,389	7,673	283
負債純資産合計		8,434	8,800	366



山田コンサルティンググループ株式会社

## 2. 2015年3月期 通期業績予想



# (1) 2015年3月期 通期連結業績予想

(百万円、%)

	第2四半期累計 (実績) A	通 期	
		予想数値(修正後) B	進捗率 (A/B)
売 上 高	4,145	8,400	49.3
営 業 利 益	961	1,920	50.0
経 常 利 益	1,044	1,970	53.0
当 期 純 利 益	647	1,200	53.9
	第2四半期末(実績)	期 末(予想)	
1株当たり配当金(円) (年間合計)	45	45 (90)	

- 10月23日に通期連結業績予想を上方修正

※修正前:売上高8,000百万円 営業利益1,770百万円 経常利益1,800百万円 当期純利益1,080百万円

- 経営コンサルティング事業、不動産コンサルティング事業、資本・株式・株主に  
関するコンサルティング事業は、各々順調な業績を確保できると見込む
- F P 関連事業は、法人向け研修の拡販により計画以上の業績を目指す





## (2-1) セグメント別の事業戦略①

### 投資ファンド事業

#### <事業承継ファンドのキャピタルソリューションファンド>

- 壱号ファンドは残存投資株式の利益ベースでの売却実現を目指す  
(2014年9月末投資残高7百万円)
- 弐号ファンド(総額10億円)は、慎重に投資案件を発掘

### FP関連事業

- 法人マーケットで金融機関を中心にFP関連の研修ニーズが高まりつつあり  
⇒Webを活用したFP関連講座販売及び研修の拡販、オーダーメイド型の企業実務研修の拡販を行う
- 相続手続に関するサポート業務(商品名「相続あんしんサポート」)の早期事業化  
提携金融機関との強固な連携関係の構築及び新規提携先の獲得に注力

## (2-2) セグメント別の事業戦略②



山田コンサルティンググループ株式会社

### 経営コンサルティング事業

#### ■ ビジネスモデルの変換

現状、事業再生コンサル中心

⇒『事業再生コンサル』『事業成長コンサル』『M&Aコンサル』の三本柱へ

- ・事業継続、持続的成長支援コンサル体制を強化
- ・事業再生、事業承継を切り口としたM&Aコンサルの本格事業化を目指す

M&A部隊と事業承継部隊を統合し、M&A周辺コンサル体制を強化

- 大手金融機関に加え、地域金融機関、政府系金融機関、投資銀行、大手弁護士事務所、ファンドとの連携強化による確固たる営業基盤の構築
- 地方拠点展開の積極化
- シンガポール支店及び中国現地法人(上海市)を拠点として中国、アジア展開を推進
- ブランド向上への取り組み

## (2-3) セグメント別の事業戦略③



### 不動産コンサルティング事業

- 営業基盤の強化・拡大
  - ・提携会計事務所との連携強化に注力
  - ・新規提携先(大手会計事務所、資産税特化の会計事務所)の開拓に注力

現在、260会計事務所と提携⇒中長期的には倍増を目指す
- 人的組織基盤の構築
  - 早期に事業的規模とすべく、積極的な増員を計画

### 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

- M&A関連業務を強力に拡大推進
  - 営業拠点である証券会社との連携のもと、M&A関連業務の早期拡大を目指す
- 事業再編に伴うワンストップ型のFA業務、財務デューディリジェンス業務、バリュエーション業務を引き続き推進
- 優良企業オーナーの資産管理・事業承継アドバイザリー業務もワンストップ型で推進
  - 相続・事業承継関連ニーズに対応した富裕層向けコンサルメニューの拡充



## (3) リスク情報

### 経営コンサルティング事業

- 人材の確保及び育成
- 情報管理⇒機密情報が漏洩したときのリスク

### 不動産コンサルティング事業

- 不動産市況の動向

### 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

- 人材の確保及び育成
- 情報管理⇒機密情報が漏洩したときのリスク

### 投資ファンド事業

- 投資先企業の業績状況、株式評価、売却タイミングによる業績変動リスク

### FP関連事業

- FP関連事業の商品構成・・・FP資格取得講座販売への依存度が高い
- 経済動向



山田コンサルティンググループ株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知置き下さい。